

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

# CELERY セロリ

2005  
No.56



公開講座のお知らせ  
平成16年度決算  
平成17年度予算

# 感 雑 教 育

学 長 藤 本 淳

最近、学童の学力低下を危惧する記事が多い。その原因の一つは、一九七七年の教える上限を定めた「学習指導要領」にあり、その結果、OECD(経済協力開発機構)加盟三十一ヶ国による学習到達度調査では、読書時間が短く、読解力が低く、自信喪失で自分の考えを述べられない子供の割合が毎回の調査で常にトップを維持している。二〇〇二年、たまりかねた遠山文科相は「学びのすすめ」を打ち出したが、同年、これに全く矛盾する「新学習指導要領」によって、学習時間は更に三割削減された。その経緯をたどれば、「ロン・ヤス時代」の日本への内需拡大の外圧に対しての週休二日制が小・中学校にも及び、履修時間の大幅な削減が余儀なくされていたに過ぎない。「ゆとり教育」のすすめや「詰め込み教育」の排撃は文科省役人と御用学者による苦肉の策であった。

一九八〇年、サッチャー首相は国家批判や子供中心の教育に異を唱え、人間成長の基本は家庭にあるとし、伝統的な家族と宗教・礼節を含む道徳観の再現に務め、コア・カリキュラム(宗教・国語・数学・理科)と歴史などの基礎7科目の充実や教育基本法の改正によって長年の「英国病」からの脱却を図り、短期間で成功した。三年遅れて、レーガン大統領も「危機に瀕する国家」の教育機能の低下・学力の低下・モラルの低下・国を担う意志の低下の四つの危機からヴェトナム戦争の後遺症に悩む国に教育改革を断行し、強いアメリカが再現した。日本でも、江戸時代から藩校、私塾、寺子屋

が教育レベルの維持を保ち、幕末、列強による植民地化が防がれた。明治維新政府も教育を重視し、西洋文明に飲みこまれることなく、「皇神の厳しき国日本の尊さ」に基づく「和魂洋才」で近代史の奇跡とも言える国家を短期間で形成した。昔は「読み・書き・算盤」が基本であった。象形文字の多い漢字を何度でも手で書き、憶えることで左脳と右脳が発達する。算盤は左脳で数字を、右脳で珠の動きを描き、時に、コンピュータに優る。日本語もまだ十分でない幼児・児童への英才教育と称した英語レッスンは、折角発達している左脳の言語中枢を混乱させ、耕されていない畑に種子を蒔く感がある。十二品目の朝食を摂る学童とそうでない子供との偏差値の有意差は、中・高にまで及ぶことが立証されている。早期からの英語も結構であるが、せめて子供の朝食への配慮もほしい。

最近、「新しい歴史教育」の是非が新聞紙上で取り上げられた。歴史は真実を述べると同時に、相反する二つの真実の一方を故意に無視したり、歴史的検証も十分でない事をことさらに大きく取り上げてはならない。これは偏向史観である。「ハル・ノート」の内容もABCラインも知らなければ、日本が何如無謀な太平洋戦争に突入したかも不可解であろう。文化大革命や天安門事件は中国の教科書にはない。自国の歴史を多方面から知ることが教養であり、誰しも複数の歴史書を読むのが当然であるからだろう。国連も所詮ナショナル・スタ

うとせず、国家の誇りにも乏しく、倒錯したグローバルスタンダードによる外交や経済交流は御免である。

最近読んだC・W・ニコル氏のコラムを紹介する。「第一次世界大戦時、ドイツのUボートに英艦は次々と撃沈され、救助に当たった僚艦も魚雷を食らい、多くの人命が失われていた。英国は衝撃を受け、敵味方にかかわらず、生存者は救助するのが往事の海軍の暗黙の定めであったにも関わらず、二次被害を避けるため、『たとえ友軍であれ、救助に赴くに及ばず』の軍令を出した。しかし、この命令を敢然と無視したのが日英同盟に基づきマルタ島を基地とし、地中海で、インドやオーストラリアからの英連邦軍の兵員輸送の警護という図抜けて危険な任に当たっていた日本海軍特務艦隊であった。一九一七年五月、二隻の駆逐艦がUボートによる英艦襲撃の現場に急行し、一隻がUボートに反撃、他艦が雷撃を受け、沈みかけていた英艦トランシルヴェニア号の将兵非戦闘員三千三百名以上を救助した。この報が英国議会に届いた時、全議員は、日本語の『万歳』を叫んだ。日本海軍の勇敢で、優れた技術はその後多くの兵員を救助し、西部戦線の戦局が好転した。マルタ島には戦死した日本海軍軍人の慰霊碑が今もある」。日本人の道徳観や使命観の根幹として培われ、戦前、日本を評価する欧米人が理解に務めた武士道の涵養が教育の場から今は消えている。



中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

# CELERY セロリ

2005  
No.56

C O N T E N T S

リレーエッセイ 第19回 教育雑感 .....	1
中村学園大学開学40周年記念事業のお知らせ .....	3
公開講座のお知らせ .....	4
ハワイ大学リーワード短期研修学生受け入れ .....	5
中村学園スポーツ・文化振興基金による表彰 地震を想定した避難訓練実施 .....	6
平成16年度決算 .....	7
平成17年度予算 .....	9
研究内容紹介『「近赤外分析法」という言葉を 聞いたことがありますか？新しい機能性食品の開発を目指して』 .....	11
研究トピックス『学生の人気業種と添乗員』 .....	12
平成18年度入学試験のお知らせ .....	13
平成17年度オープンキャンパスのお知らせ 平成17年度情報処理センター開館時間延長の実施について .....	15
平成16年度図書館利用状況 .....	16
イベント&ニュース .....	17
管理栄養士国家試験合格状況／名誉教授／GPA優秀者表彰／ 平成17年度後援会地区連絡会／研究助成・受託研究等採択状況／ 表彰のお知らせ／教員の出版物	



中村学園大学は2003(平成15)  
年4月1日付で、財団法人大  
学基準協会より大学基準に  
適合しているものと認められ、  
正会員として認定されました。

【今月の表紙】 本年度から開館時間延長を実施した情報処理センター  
(延長時間帯は学生スタッフが対応 ※詳細は本号(15頁)を参照)



# 中村学園大学開学40周年記念事業のお知らせ

中村学園大学は、1965(昭和40)年に家政学部食物栄養学科及び児童学科の1学部2学科を設置して開学し、今年で開学40周年を迎えました。そこで本学では、開学40周年の記念事業を次のとおり実施する予定です。実施にあたっては、学内に「中村学園大学開学40周年記念事業検討委員会」を組織し、具体的な実施内容について検討中です。詳細につきましては、次号の本誌やホームページ等でお知らせいたします。

## 1 大学の歌の制定

現在本学には、学園歌と大学開学30周年時に作製したキャンパスソング(「あの日を忘れない」)がありますが、今回は学生の皆さんがクラブ活動など様々な場面で歌えるような大学の歌を制定したいと考えています。作詞・作曲は、「アメリカン・フィーリング(サーカス)」「青い珊瑚礁(松田聖子)」「グッドラックラブ(田原俊彦)」「キャッツアイ(杏里)」など数多くのヒット曲やテレビ番組の楽曲提供を手がけた作詞・作曲家・音楽プロデューサーの小田裕一郎氏にお願いすることにいたしました。小田氏は、現在アメリカのニュージャージー州にプライベートスタジオを持たれ、アメリカをはじめヨーロッパなど海外においても音楽活動を積極的に行っておられますが、今年6月、お忙しい中來日いただき本学関係者との具体的な打合せを行いました。今からどのような歌ができるのか大変楽しみです。完成した際には学内外の方々に広くお知らせする予定です。

## 2 記念講演会の開催

大学の各学部・研究科がそれぞれに企画した記念講演会を計3回開催する予定です。主に本学の学生・教職員を対象としていますが、学部によっては学外関係者や一般の方々も参加できるものもあります。各講演会のプログラム(概要)は次のとおりです。

### 記念公演会プログラム

研究科・学部	開催日時	場所	テーマ(仮題)	対象	内容(詳細未定)
栄養科学研究科 栄養学部	10/29(土) 14:00~17:00	福岡国際 ホール	管理栄養士、 新たな可能性を求めて	本学学生・教職員	基調講演 パネルディスカッション
人間発達学研究科 人間発達学部	10/29(土) 14:00~16:00	本学 体育館	これからの日本の保育 と育児支援のあり方	本学学生・教職員 卒業生 付属幼稚園保護者 学外関係者	講演
流通科学研究科 流通学部	12/10(土) 14:00~16:30	福岡国際 ホール	日本の食卓における食 品・農産物の流通を考 える	本学学生・教職員 学外関係者 一般の方々	基調講演 パネルディスカッション

※人間発達学研究科・人間発達学部の記念講演会は、大学院人間発達学研究科開設記念と併せて開催されます。

## 3 キャンパスグッズの作製

キャンパスグッズについては、これまでも検討されていましたが、今回正式に作製することになりました。現在、学生の皆さんが日常使えるような文房具を中心に検討中です。また、開学記念講演会に参加した学生には記念品として配布する予定です。



## 公開講座のお知らせ

今年で32回目を数える、中村学園大学・中村学園大学短期大学部主催の公開講座を開催いたします。今回は、3コース・6つの講座を準備いたしました。内容は、下記のプログラムのとおりとなっています。それぞれ、ユニークな教育と研究にあたっております本学の特色を十分に発揮した講座となっています。ふるってご参加ください。

### 申し込み方法について

- お申込は、「官製はがき」または「Eメール」にて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、受講希望コースを明記のうえ、
  - ① Aコース 8月17日(水)～8月31日(水)
  - ② Bコース 8月17日(水)～9月20日(火)
  - ③ Cコース 8月17日(水)～10月5日(水)の期間にお願いいたします。  
(※電話、FAXでの申込受付はいたしておりません)
- 定員になり次第、締め切らせていただきます。  
※定員に余裕があれば、当日でも受付いたします。
- 受講された方には、開催日ごとに受講証書を発行いたします。
- 受講料ならびにテキスト代は無料です。
- 開催日ごとに会場が異なりますので、ご注意ください。
- 受講申込者からご提供いただく個人情報、受講票の発送、今後の公開講座開催に関する情報のご案内、公開講座の改善を目的とした統計資料の作成のためにのみ使用いたします。

### 託児所のご利用について

- 公開講座各コース開催日には、学内に託児所(ベビーシッター会社への委託)を設けております。
- 利用を希望される方は、直接右記の委託先へ電話にてお問い合わせください。(利用料は無料)
- 委託先 グレース福岡  
※(社)全国ベビーシッター協会正会員  
〒812-0035 福岡市博多区中呉服町1-26  
TEL092-263-8040

### 申し込み・問い合わせ先

〒814-0198 福岡市城南区別府5丁目7番1号中村学園大学・中村学園大学短期大学部庶務課「公開講座」係  
TEL(092)851-2559

●Eメール koukai@nakamura-u.ac.jp ●ホームページ <http://www.nakamura-u.ac.jp/>

## プログラム

### Aコース

9月10日(土)  
超高齢化と栄養  
定員/120名

- 13:00～13:10 〈場所〉西1号館10階 大講義室  
開講式 大学側挨拶 学長 藤本 淳
- 13:10～14:30 〈場所〉西1号館10階 大講義室  
「高齢者の食事と栄養障害  
ーこんな食生活が病気を招くー」  
今津赤十字病院 副院長 長尾 哲彦(老年科)
- 休憩・移動(30分)
- 15:00～16:30 〈場所〉中央南館2階 213示範室  
「高齢者に優しい調理と食事  
ー咀嚼困難・嚥下障害の人のための食事ー」  
栄養科学部 教授 吉岡 慶子(調理科学、食機能健康科学)

### Bコース

10月1日(土)  
アート教育で子育てを考える  
定員/50名

- 13:00～14:20  
〈場所〉音楽館・体育館2階 表現室  
「子どもとところをつなぐ音楽表現」  
短期大学部幼児保育科 教授 久富 さよ子(音楽教育)
- 休憩・移動(20分)
- 14:40～16:00  
〈場所〉音楽館・体育館2階 多目的ホール  
「子どもの絵が語ることー表現と発達ー」  
短期大学部幼児保育科 講師 古賀 和博(美術教育)

### Cコース

10月15日(土)  
豊かな暮らしと流通  
定員/100名

- 13:00～14:20 〈場所〉西4号館2階 大講義室  
「地域の活性化を考える  
ー呼子朝市を中心にしてー」  
流通科学部 助教授 片山 富弘  
(マーケティング・マネジメント論)
- 休憩(10分)
- 14:30～15:50 〈場所〉西4号館2階 大講義室  
「経営情報分析ーはじめての株式投資ー」  
短期大学部家政経済科 教授 新 茂則  
(経営情報論、商業科教育法、情報科教育法)
- 15:50～16:00 〈場所〉西4号館2階 大講義室  
閉講式 大学側挨拶 公開講座委員長 安部 文彦

# ハワイ大学リーワード短期研修学生受け入れ

本学とハワイ大学リーワードとの国際交流プログラムに基づき、5月22日から6月4日までの14日間、ハワイ大学リーワードから短期研修学生6名と引率者1名を受け入れました。短期研修学生の受け入れは平成15年度に引き続き今回が2回目となります。研修の主な内容は、学内での調理実習、栄養や食品に関する講義や実習のほか、活花、書道、茶道といった日本の伝統文化を理解する実習も行われました。また学外研修として、中村調理製菓専門学校、JALリゾートシーホークホテル福岡での日本料理実習や、福岡県田主丸の若竹酒造の見学や大宰府天満宮への参拝などが行われ、研修生は福岡の歴史と伝統に大変興味を持ったようです。



学生との合同調理実習

本年度の研修では、前回以上に、リーワードの学生と本学の学生との交流の場が多く設けられました。学生交流会では、リーワードでの研修を経験した本学学生を中心に約30名が参加し、リーワードの研修生と身振り手振りをまじえての活発なコミュニケーションが行なわれていました。また、短期大学部食物栄養科の学生との合同調理実習では、それぞれの国の料理を実際に調理し、お互いに試食しあいながら、調理方法などについて熱心に質問していました。さらに交流のひとつとして実施したヤフードームでの野球観戦では、両校の学生が一緒になって大きな声



ヤフードームでの野球観戦

援を送っていました。

研修生からは「どの実習も講義も最高だった」「日本の料理人の調理技術は素晴らしい」「中村の学生は、いろいろ教えてくれて、とても親切だった」など、研修に大変満足したという感想をいただきました。6月4日の帰国の日には、多くの学生が見送りに訪れ、再会を誓い合いながら、最後まで記念写真を撮るなど、本研修はリーワードの学生だけでなく、本学の学生にとっても忘れられない思い出となったようです。最後になりますが、本研修に対して、西日本国際財団より助成金をいただきました。紙面を借りまして、厚くお礼を申し上げます。

（短期大学部食物栄養科 講師 岩田京子）



ホテル厨房での調理実習

## 中村学園スポーツ・文化振興基金による表彰



※中村学園スポーツ・文化振興基金は、学校法人中村学園が設置する各学校のスポーツ・文化活動を奨励・表彰することにより、本学園のスポーツ・文化活動の振興をはかることを目的に中村学園事業部の寄付金をもつて創設されたものである。

に向けた今後の活躍に期待しています！

中村学園大学の学生として学園祖中村ハル先生の遺訓「努力の上に花が咲く」とおり持ち前のファイトで精進努力した結果であり、このことは中村学園にとっても誇りであり他の模範となるものです。その功績を称え、中村学園スポーツ・文化振興基金※による表彰式が4月26日に行われ、中村理事長より表彰状の授与と併せて記念メダル、記念品料が贈られました。南里君の世界

流通科学科2年生の南里康晴君は、2004年12月へルシンキで開催されたフィギュアスケートジュニアグランプリファイナルでトリプルアクセル（3回転半ジャンプ）に成功し2位の栄冠に輝きました。その後、国内大会でも数々のすばらしい成績を残し、冬のオリンピックとしては第20回記念大会となるイタリア・トリノで行われる冬季オリンピック（2006年2月10日～2月26日）への出場が期待されています。

## 地震を想定した避難訓練実施



実習の途中でグラウンドに避難



建物の中から避難する学生達

平成17年3月20日の福岡県西方沖地震や4月20日のその余震では、幸いにも休日や早朝に発生したため学内での人的被害はありませんでした。今後、多くの学生や教職員が学内にいる時間帯に地震が発生したケースを想定し、被害を最小限に止めることを目的として、5月12日（木）に避難訓練を実施いたしました。当日は、福岡市消防局が作成した「地震心得10か条」を全学生、教職員へ配布し、2限目終了直前の午後12時5分から訓練を開始いたしました。

まず、地震を知らせる非常放送で①机の下などに隠れ身の安全を確保すること②実習などで火を使っている人はあわてずに火の始末をすること③エレベーターは、最寄の階で自動停止するので直ちに降りるように、との指導がありました。次に揺れが収まり、避難する際の注意事項の説明があり、全員グラウンドや前庭へ避難いたしました。また、その間地震による火災が発生したことを想定して、本学教職員自衛消防隊組織による初期消火活動等の訓練も併せて行いました。

地震による避難訓練は、今回が初めての試みでしたが、大きな地震が発生して間もない時期であったため、参加者は全員真剣に取り組み、さらに防災意識を高めることができました。



学校法人中村学園

平成十六年度 決算

平成十六年度の決算は、去る五月二十七日の評議員会並びに理事会において承認されました。平成十六年度は、中期総合計画（平成十五年度～平成十九年度）に沿った事業を行うとともに中村学園五十周年記念行事として、記念式典、祝賀会、記念講演会等の事業を展開いたしました。その決算の概要は次のとおりです。

大学・短大では、大学院栄養科学研究所に博士後期課程を開設、流通科学部に大学院流通科学研究所修士課程を開設、教育研究の大きな柱として薬膳科学研究所設置、また、人間発達学部大学院人間発達研究科の申請を行い平成十七年四月開設することになりました。

女子中高では、かねてから海外の高校と姉妹校締結の準備を進めてまいりましたが、今回アメリカのセントフランシスハイスクールと姉妹校締結を行いました。

あさひ幼稚園では、園舎の老朽化及び大学の別府キャンパス拡張整備の一貫として移転し、新園舎を建設いたしました。

大学・短期大学の将来の校舎改築計画のために第二号基本金組入計画を策定し、本年度から組み入れを行いました。

財政基盤の安定化への取組みとして、退職給与引当金に対する退職給与引当特定資産、減価償却額の累計額に対する施設設備引当特定資産を積立しました。

平成十六年度の予算執行状況について、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表でその概要をご報告いたします。

「資金収支計算書」

表一

●収入の部

1. 学生生徒等納付金収入

補正予算を編成したことにより決算は、五十一億二、二〇〇万円で予算に対して一、〇〇〇万円の増収となります。前年度に対しては七三〇〇万円の増加となりました。

2. 手数料収入

入学検定料収入は、志願者数増により増収。特に大学においては大学入試センター利用による試験を導入したことにより増加しました。

3. 補助金収入

補助金総額は十二億八、七〇〇万円で、うち国

庫補助金収入は、大学短大において流通科学部が完成年度を迎えて経常費補助金の交付対象となり総額が四億四、八〇〇万円交付になり、前年度から一億一、六〇〇万円増加しました。研究設備整備費補助六〇〇万円が交付され、女子中高校では、IT教育設備補助一、三〇〇万円交付されました。あさひ幼稚園では新園舎に施設整備資金補助二、七〇〇万円交付されました。地方公共団体補助金収入は、高校・中学幼稚園に経常費補助金七億五、二〇〇万円交付されました。

4. 資産運用収入

資金の効果的運用を図り受取利息収入が一億二、四〇〇万円となり前年度に対して一億一、五〇〇万円増加しました。

5. 前受金収入

十七年度入学生が各学校共に増加し、前受金が予算額に対して八四〇〇万円増加しました。

●支出の部

1. 人件費支出

補正予算を編成いたしましたので、予算額どおりの執行となりました。退職金は二億三、一〇〇万円で前年度に対して一億一、三〇〇万円増加しました。

2. 施設・設備関係支出

表二

3. 資産運用支出

① 大学・短期大学部に新規の校舎改築引当特定資産の組入

② 女子中高に校舎改築引当特定資産の組入

③ 退職給与引当金に見合う退職給与引当特定資産を積立

④ 減価償却額の累計額に見合う施設設備引当特定資産を積立

⑤ 中村ハル育英奨学金基金、中村学園学術研究振興基金に組入

「消費収支計算書」

表三

●消費収入の部

1. 帰属収入合計

決算額は七十三億四、四〇〇万円で予算に対して二億七、〇〇〇万円増加しました。前年度より五億二、六〇〇万円（七・七％）の増加となりました。

2. 基本金組入額合計

基本金組入額は十億八〇〇万円を組入れました。

3. 消費収入の部合計

消費収の部合計六十三億三、五〇〇万円が消費支出に充当できる金額で、前年度より二、七〇〇万円増加しました。

平成16年度 主な施設設備の事業

表二

区 分	事 業 内 容
大学院・大学・短期大学部	中央本館西側トイレ改造（年次計画最終年度）
	中央本館3階 薬品室及び器具庫改修工事
	薬膳研究所設置にかかる施設整備工事及び研究機器購入
	福岡市営地下鉄3号線開業に伴う東門設置工事
	317R、505R教室視聴覚設備設置（年次計画）
	東3号館研究室空調機取替
	寮受水槽設置工事
	学友会館屋上塗膜改修工事
	セミナーハウス台風被害復旧工事
	セミナーハウスプロジェクター取替
	西1号館視聴覚室プロジェクター取替
	図書館AVコーナー機器増設
	第2体育館 トレーニング機器増設
	分離用超速心機購入
女子中学校・高等学校	DNAシーケンサー購入
	隣地取得及び校地整備工事
	LL教室システム機器更新
三陽中学校・高等学校	4棟パソコン一式更新
	校舎外壁タイル張替え
	校舎屋上防水工事（年次計画）
	プラズマテレビ購入
	視聴覚備品購入
あさひ幼稚園	新園舎建築工事
	新園舎設備購入
壱岐幼稚園	遊戯室空調設備設置
	各保育室サッシ網戸取付

平成16年度資金収支計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位/円)

収 入 の 部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学 生 徒 等 納 付 金 収 入	5,111,850,000	5,122,295,850	△10,445,850	
手 数 料 収 入	168,490,000	186,997,010	△18,507,010	
寄 付 金 収 入	17,520,000	20,795,099	△3,275,099	
補 助 金 収 入	1,132,690,000	1,287,326,238	△154,636,238	
産 運 用 収 入	120,010,000	152,354,054	△32,344,054	
産 売 却 収 入	0	3,017,874,357	△3,017,874,357	
事 業 収 入	251,440,000	258,702,099	△7,262,099	
雑 収 入	268,370,000	270,791,553	△2,421,553	
前 受 金 収 入	1,067,980,000	1,152,630,300	△84,650,300	
そ の 他 の 収 入	109,760,000	111,975,078	△2,215,078	
資 金 収 入 調 整 勘 定	△1,338,970,000	△1,389,629,866	50,659,866	
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	6,710,000,000	6,710,001,027	△1,027	
収 入 の 部 合 計	13,619,140,000	16,902,112,799	△3,282,972,799	

(単位/円)

支 出 の 部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人 件 費 支 出	3,805,620,000	3,743,365,723	62,254,277	
教 育 研 究 経 費 支 出	1,093,900,000	1,035,787,777	58,112,223	
管 理 経 費 支 出	551,630,000	530,778,546	20,851,454	
借 入 金 等 利 息 支 出	12,400,000	12,391,770	8,230	
借 入 金 等 返 済 支 出	42,210,000	42,210,000	0	
施 設 関 係 支 出	447,810,000	440,998,681	6,811,319	
設 備 関 係 支 出	147,740,000	140,360,145	7,379,855	
資 産 運 用 支 出	6,724,260,000	9,053,267,558	△ 2,329,007,558	
そ の 他 の 支 出	157,700,000	160,176,310	△ 2,476,310	
		(230,000)		
[ 予 備 費 ]	17,670,000		17,670,000	
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 250,360,000	△ 275,504,868	25,144,868	
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	868,560,000	2,018,281,157	△ 1,149,721,157	
支 出 の 部 合 計	13,619,140,000	16,902,112,799	△ 3,282,972,799	

貸借対照表

表一4 平成17年3月31日 (単位/円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(△)
固 定 資 産	29,820,565,945	23,655,306,222	6,165,259,723
有 形 固 定 資 産	20,406,908,013	20,500,232,650	△ 93,324,637
土 地	8,001,769,861	7,936,347,861	65,422,000
建 物	9,750,566,723	9,921,826,952	△ 171,260,229
構 築 物	537,637,508	534,341,162	3,296,346
教育研究用機器備品	697,620,902	705,090,597	△ 7,469,695
その他の機器備品	76,045,123	77,442,350	△ 1,397,227
図 書	1,328,894,796	1,303,856,428	25,038,368
車 輦	12,220,600	17,527,300	△ 5,306,700
建 設 仮 勘 定	2,152,500	3,800,000	△ 1,647,500
そ の 他 の 固 定 資 産	9,413,657,932	3,155,073,572	6,258,584,360
電 話 加 入 権	2,018,281,157	2,879,644	0
有 価 証 券	1,922,713,394	2,090,781,034	△ 168,067,640
収益事業元入金	20,000,000	20,000,000	0
出 資	38,877,640	38,877,640	0
長 期 積 立 金	440,100	440,100	0
敷 金	1,600,000	1,600,000	0
大学短大校舍改築引当特定資産	300,000,000	0	300,000,000
女子中高校舍改築引当特定資産	800,000,000	600,000,000	200,000,000
第3号基金引当資産	432,147,154	400,495,154	31,652,000
退職給与引当特定資産	1,471,000,000	0	1,471,000,000
施設設備引当特定資産	4,424,000,000	0	4,424,000,000
流 動 資 産	2,964,028,319	7,726,325,578	△ 4,762,297,259
現 金 ・ 預 金	2,018,281,157	6,710,001,027	△ 4,691,719,870
有 価 証 券	411,332,438	610,707,037	△ 199,374,599
特 定 金 銭 信 託	294,109,180	294,109,180	0
未 収 入	238,609,566	110,152,918	128,456,648
仮 払 金	0	780,359	△ 780,359
前 払	1,695,978	575,057	1,120,921
資 産 の 部 合 計	32,784,594,264	31,381,631,800	1,402,962,464
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(△)
固 定 負 債	1,901,817,850	1,927,165,519	△ 25,347,669
長 期 借 入 金	429,350,000	471,560,000	△ 42,210,000
退職給与引当金	1,472,467,850	1,455,605,519	16,862,331
流 動 負 債	1,630,610,640	1,505,428,360	125,182,280
短 期 借 入 金	42,210,000	42,210,000	0
未 払 金	274,929,811	157,327,750	117,602,061
前 受 金	1,152,630,300	1,151,380,300	1,250,000
預 り 金	154,996,529	153,357,728	1,638,801
仮 受 金	0	1,152,582	△ 1,152,582
地震被害引当金	5,844,000	0	5,844,000
負 債 の 部 合 計	3,532,428,490	3,432,593,879	99,834,611
基 本 金 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(△)
第 1 号 基 本 金	27,733,568,083	27,256,741,412	476,826,671
第 2 号 基 本 金	1,100,000,000	600,000,000	500,000,000
第 3 号 基 本 金	432,147,154	400,495,154	31,652,000
第 4 号 基 本 金	410,000,000	410,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	29,675,715,237	28,667,236,566	1,008,478,671
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(△)
翌年度繰越消費支出超過額	423,549,463	718,198,645	△ 294,649,182
消費収支差額の部 合計	△ 423,549,463	△ 718,198,645	294,649,182
科 目	本年度末	前年度末	増減(△)
負債の部、基本金の部 消費収支差額の部 合計	32,784,594,264	31,381,631,800	1,402,962,464

注記

1. 減価償却額の累計額の合計額 7,999,507,730円

2. 徴収不能引当金の合計額 なし

3. 担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土 地 1,046,223,594円

建 物 295,756,000円

計 1,341,979,594円

4. 退職給与引当金の算出方法は、次のとおりである。

法人本部・大学・短科大学部は期末要支給額 1,268,574,000円から私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。高等学校以下は、期末要支給額989,475,000円から私学退職金団体よりの交付金相当額を控除した金額を計上している。

5. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる額 472,064,000円

6. 貸借取引として会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち平成10年4月以降締結したものは次のとおりである。

リ ー ス 資 産 の 種 類 リース料総額 未経過リース料期末残高

教 育 研 究 用 機 器 備 品 383,725,352円 212,170,440円

そ の 他 の 機 器 備 品 3,691,800円 945,420円

コ ン ピ ュ ー タ ソ フ ト (経 費 属 外) 80,540,504円 28,953,129円

計 467,957,656円 242,068,989円

7. 地震被害引当金 平成17年3月20日発生の福岡県西方沖地震被害の修繕見積額を計上。

●消費支出の部

1.消費支出の部合計

決算額六十億四、一〇〇万円です。前年度より一億四、五〇〇万円減少しました。前年度より一億四、四〇〇万円減少となりました。

●当年度消費収支

消費収入の部合計六十三億三、五〇〇万円から消費支出の部合計六十億四、一〇〇万円を差し引くと当年度消費収支超過額が二億九、四〇〇万円となり、前年度繰越消費支出超過額七億一、八〇〇万円から差し引くと翌年度繰越消費支出超過額は四億二、三〇〇万円となります。

●消費収支差額(帰属収入合計・消費支出の部合計は十三億三、〇〇〇万円となり、予算に対して四億一、五〇〇万円が改善されました。

「貸借対照表」

表4

1.資産の部合計

総額は三十七億八、四〇〇万円です。前年度と比較して、十四億三、〇〇〇万円(四・五%)増加しました。

①固定資産

土地は取得により増加、新に大学・短大校舍改築引当特定資産の組入れ及び退職給与引当特定資産施設設備引当特定資産を積み立てました。

②流動資産

現金は退職給与引当特定資産施設設備引当特定資産に振り替えたことにより減少し、未収入金は退職金財団交付金等が増加しました。

2.負債の部合計

総額は三十五億三、二〇〇万円です。前年度と比較して、一億四、二九〇万円増加しました。

①固定負債

長期借入金が四、二〇〇万円減少し、退職給与引当金は一、六〇〇万円増加しました。

②流動負債

未払金が退職金の関係で一億一、七〇〇万円増加し、地震による被害額六〇〇万円を引きました。

3.基本金の部合計

第一号基本金は土地取得、建物取得等、第二号基本金は大学・短大校舍改築引当特定資産三億四、女子中高校舍改築引当特定資産二億四、第三号基本金は中村ハル育英奨学金一、一〇〇万円、中村学園学術研究振興基金二、〇〇〇万円が増加しました。

4.消費収支差額の部

翌年度繰越消費支出超過額が四億二、三〇〇万円となり、前年度に対して二億九、四〇〇万円減少しました。

資産の部合計三十七億八、四〇〇万円から負債の部合計三十五億三、二〇〇万円を差し引いた純資産額は二億九、四〇〇万円です。前年度より十三億三、〇〇〇万円増えました。

以上が、平成十六年度決算概要です。今後も消費収支の均衡を図り、教育研究の充実と学生の満足度を高めつつ、財政の健全化に努めてまいります。皆様方のご理解とご協力を願います。

平成16年度消費収支計算書

表一3 平成16年4月1日から平成17年3月31日 (単位/円)

消 費 収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	5,111,850,000	5,122,328,850	△ 10,478,850
手数料	168,490,000	186,997,010	△ 18,507,010
寄 付 金	21,090,000	31,145,850	△ 10,055,850
( 現 物 寄 付 金 )	(3,570,000)	(10,350,751)	(△ 6,780,751)
補 助 金	1,132,690,000	1,287,326,238	△ 154,636,238
資 産 運 用 収 入	120,010,000	152,354,054	△ 32,344,054
資 産 運 用 収 入	0	34,424,677	△ 34,424,677
雑 業 収 入	251,440,000	258,702,099	△ 7,262,099
雑 業 収 入	268,370,000	270,791,553	△ 2,421,553
帰 属 収 入 合 計	7,073,940,000	7,344,070,331	△ 270,130,331
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 995,890,000	△ 1,008,478,671	12,588,671
消 費 収 入 の 部 合 計	6,078,050,000	6,335,591,660	△ 257,541,660

消 費 支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	3,825,920,000	3,760,228,054	65,691,946
( 退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額 )	(150,190,000)	(137,480,631)	(12,709,369)
教 育 研 究 経 費	1,697,540,000	1,639,083,797	58,456,203
( 減 価 償 却 額 )	(603,640,000)	(603,296,020)	(343,980)
( 管 理 経 費 )	632,160,000	610,584,828	21,575,172
( 減 価 償 却 額 )	(80,170,000)	(79,806,282)	(363,718)
( 借 入 金 処 分 差 額 )	12,400,000	12,391,770	8,230
資 産 収 入	6,980,000	18,384,029	△ 11,404,029
徴 収 不 能 額	270,000	270,000	0
( 予 備 費 )	(6,640,000)		
[ 予 備 費 ]	11,260,000		11,260,000
消 費 支 出 の 部 合 計	6,186,530,000	6,040,942,478	145,587,522
当 年 度 消 費 収 入 超 過 額		294,649,182	
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	108,480,000		
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	718,200,000	718,198,645	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	826,680,000	423,549,463	

学校法人中村学園  
平成十七年度予算

平成十七年度の予算は、去る三月十六日の評議員会及び十九日の理事会において承認されました。平成十七年度予算編成については、中期総合計画（平成十五年度～平成十九年度）の三年目を迎え十六年度事業の執行状況を検証し、平成十七年度の中期総合計画における学校運営計画、学生目標、教職員計画に基づく事業といたしました。

少子化により学生生徒等の確保が年々厳しい状況にある中、財政基盤の安定を図る為、学生生徒等の満足度を充分配慮するとともに、建学の精神に基づく教育と研究の充実を図り、学生等の確保と支出の効率化を図る予算編成としました。

「大学院・大学・短期大学部」

本年度は、大学の開学四十周年を迎え、四月に人間発達学研究所修士課程を開設することで、二学部に大学院が設置され、生涯教育、高度学習教育の到来に備えて、高等教育機関としての教育研究の高度化、活性化、個性化に向けての体制が整います。

収入の部は、学生納付金収入で大学栄養科学部及び短期大学部食物栄養科で授業料を一部改正いたしました。学生数の減少等により減収となります。手数料収入で、入学検定料収入は大学入試センターの利用による志願者数の増加を見込みました。補助金収入では、経常費補助金収入を計上しました。退職金財団交付金収入は退職者の減に伴い減収となります。

支出の部は、人件費支出で退職者が前年度より少ない為、退職金支出が減少し、人件費総額が減少しました。

教育研究経費支出で、大学院人間発達学研究所修士課程の開設に伴う研究費、実習費等を計上しました。教員の海外研修派遣旅費、学内LAN設備の更新に伴うリース料、教務システムのソフトウェア更新費用、大学院生、学部学生への奨学金の充実、就職支援強化費等を計上しました。

管理経費支出では、大学開学四十周年記念行事費の計上、学生募集の強化に伴う費用を計上し、その他については費用の抑制を図りました。

施設設備関係支出表①では、ピアノ練習室空調設備工事、第一体育館トイレ及びシャワー室の改修、グラウンド拡張整備工事、前庭歩道整備工事、大学院栄養科学研究所機器の充実、学生ホールに無線LAN用印刷システム等を計上しました。資産運用支出に将来の校舎改築引当資産の組入れを計上しました。

「女子中学校・女子高等学校」

収入の部は、生徒納付金収入及び補助金収入が生徒数の減少により減収を見込みました。入学検定料は志願者の増加を見込み計上、前受金収入は十八年度入学者数の増加を見込み計上、県福祉会退職交付金は退職者の減に伴い減収を見込み計上しました。

支出の部は、教育研究経費支出で教員の語学海外研修費、姉妹校交流費、教務システムの更新費及び特技奨学生・育英奨学生への奨学金の充実を図りました。

管理経費支出では、生徒募集強化費、将来の校舎建替えの為の他校調査費用を計上しました。

資産運用支出に将来の校舎改築引当資産の組入れを計上しました。

平成17年度資金収支予算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位/千円)

表-2

収入の部				
科 目	17年度予算額	前年度予算額	増減 (△)	
学 生 徒 等 納 付 金 収 入	5,038,560	5,111,850	△ 73,290	
手 数 料 収 入	174,080	168,490	5,590	
寄 付 金 収 入	6,650	17,520	△ 10,870	
補 助 金 収 入	1,160,870	1,132,690	28,180	
資 産 運 用 収 入	167,360	120,010	47,350	
事 業 収 入	202,470	251,440	△ 48,970	
雑 収 入	80,250	268,370	△ 188,120	
前 受 金 収 入	1,078,710	1,067,980	10,730	
そ の 他 の 収 入	193,890	109,760	84,130	
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 1,109,170	△ 1,338,970	229,800	
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	868,560	6,710,000	△ 5,841,440	
収 入 の 部 合 計	7,862,230	13,619,140	△ 5,756,910	

(単位/千円)

支出の部				
科 目	17年度予算額	前年度予算額	増減 (△)	
人 件 費 支 出	3,664,210	3,805,420	△ 141,210	
教 育 研 究 経 費 支 出	1,020,940	1,093,900	△ 72,960	
管 理 経 費 支 出	414,360	551,600	△ 137,240	
借 入 金 等 利 息 支 出	11,200	12,400	△ 1,200	
借 入 金 等 返 済 支 出	42,210	42,210	0	
施 設 関 係 支 出	220,140	447,810	△ 227,670	
設 備 関 係 支 出	130,410	147,740	△ 17,330	
資 産 運 用 支 出	1,169,000	6,724,260	△ 5,555,260	
そ の 他 の 支 出	250,100	157,700	92,400	
〔 予 備 費 〕	17,900	17,900	0	
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 133,490	△ 250,360	116,870	
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	1,055,250	868,560	186,690	
支 出 の 部 合 計	7,862,230	13,619,140	△ 5,756,910	

平成17年度主な施設設備の事業

表-1

区分	事業内容
大学院・大学・短期大学部	ピアノ練習室冷暖房設備 第一体育館1階トイレ及びシャワー室の改修 西1号館10階大講義室AV機器一式更新 304R・404R講義室AV機器設置 留学生宿舎増設 正面玄関改造工事 グラウンド拡張整備工事 前庭屋外水銀灯増設工事 前庭歩道整備工事 栄養科学研究科 研究用機器の充実 ガスクロマトグラフ質量分析計買替 高等教育研究改革推進経費補助申請機器 第二体育館機器充実 無線LAN用印刷システム一式 教務システム機器更新
女子中学校・高等学校	グラウンド整備工事 卓球場空調設備 第三棟トイレ改修工事 教務システム機器更新 車輛購入
三陽中学校	校舎屋上防水改修工事(年次計画) 教室ロッカー整備工事 車輛購入
あさひ幼稚園	新園舎設備購入 旧園舎解体費
杏林幼稚園	スクールバス昇口ルーフ設置



施設設備関係支出（表1）では、グラウンド整備費、卓球場空調設備工事、三棟トイレ改修工事、教務システム機器の更新、生徒募集用の車輛購入等を計上しました。

「三陽中学校・三陽高等学校」

収入の部は、生徒納付金収入で生徒数の増加等により増収を見込み計上、補助金収入は経常費単価の増による増収を見込み計上しました。

支出の部は、人件費支出で1コマ四十五分授業に伴い授業数の増加、教育研究経費支出で教員の資質向上を図る研修費、教育改革実践校視察費、中学校のホームステイ引率費、育英奨学金の充実に図り計上しました。管理経費支出においては、生徒募集強化費を計上しました。その他については、経費の抑制を図りました。施設設備関係支出（表1）では、校舎屋上防水工事、教室ロッカー整備工事、生徒募集用の車輛購入等を計上しました。

「学園総合」

「資金収支予算」

表2

収入の部は、前年度予算と比較して、学生生徒等納付金収入が七、三〇〇万円減収となります。資産運用収入は効率的な運用に努め四、七〇〇万円増収を見込みました。雑収入は退職金財団交付金収入等で一億八、八〇〇万円減少、その他の収入で前期末未収入金収入が八、四〇〇万円の増収になります。当年度収入合計は、六十九億九、三〇〇万円となり、これに前年度繰越支払資金八億六、八〇〇万円を加え、収入の部合計が七十八億六、二〇〇万円となります。

支出の部は、人件費支出で退職金が前年度と比較して一億五、三〇〇万円減少し、教育

研究経費支出は、研究助成金・受託研究にかかる経費が減少となります。管理経費支出には、大学四十周年行事費を計上しました。施設設備関係では、あさひ幼稚園移転に伴う新園舎の設備費等を含め、表1のとおり充実に図ります。資産運用支出において、第二号基本金組み入れに五億円、特定引当資産に五億九、九〇〇万円計上しました。次年度繰越支払資金は、十億五、五〇〇万円となります。

「消費収支予算」

表3

消費収入の部では、帰属収入合計が六十八億三、四〇〇万円の前年度に比較して二億三、九〇〇万円減収見込みとなります。基本金組入額合計に第二号基本金組入額として大学・短期大学部並びに女子中高の校舎改築基本金の組入れを計上しました。これを含めた基本金組入額九億三、七〇〇万円を控除した消費収入の部合計が五十八億九、六〇〇万円です。消費支出に充当可能な収入です。

消費支出の部は、人件費で一億四、六〇〇万円減となり、人件費比率が五三・八％（五四・一％）で〇・三ポイント下がります。教育研究経費では五、六〇〇万円の減で教育研究経費比率が二四・〇％（二四・〇％）となります。消費支出の部合計は、五十八億八、五〇〇万円となり、前年度より三億円減少します。

当年度収入超過額は一、一〇〇万円となり、これに前年度からの繰越消費支出超過額八億二、六〇〇万円を加えると、翌年度繰越消費支出超過額は八億一、五〇〇万円となります。

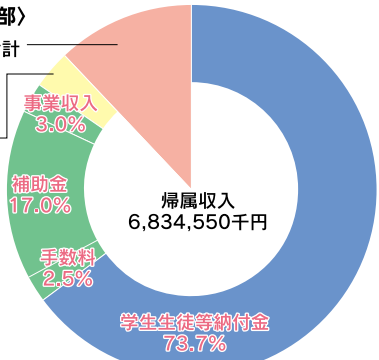
以上が、平成十七年度の予算概要ですが、ますます学生生徒等の確保が厳しくなる中で、財政基盤の安定を図るために予算執行に当たっては適正且つ厳正に努めます。

平成17年度消費収支予算書の内訳

〈消費収入の部〉

基本金組入額合計  
13.7%  
937,650千円

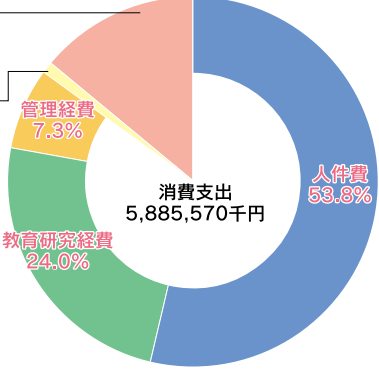
その他  
3.8%  
(寄付金0.4%含む)



〈消費支出の部〉

帰属収支差額  
13.9%  
948,980千円

その他  
1.0%



平成17年度消費収支予算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位/千円)

表-3

消費収入の部			
科目	17年度予算額	前年度予算額	増減(△)
学生生徒等納付金	5,038,560	5,111,850	△ 73,290
手数料	174,080	168,490	5,590
寄附金	10,960	21,090	△ 10,130
補助金	1,160,870	1,132,690	28,180
資産運用収入	167,360	120,010	47,350
事業収入	202,470	251,440	△ 48,970
雑収入	80,250	268,370	△ 188,120
帰属収入合計	6,834,550	7,073,940	△ 239,390
基本金組入額合計	△ 937,650	△ 995,890	58,240
消費収入の部合計	5,896,900	6,078,050	△ 181,150

(単位/千円)

消費支出の部			
科目	17年度予算額	前年度予算額	増減(△)
人件費	3,678,450	3,824,970	△146,520
(退職給与引当金繰入額)	( 86,840)	( 149,490)	( △62,650)
教育研究経費	1,641,150	1,697,520	△56,370
(減価償却額)	( 620,210)	( 603,620)	( 16,590)
(管理経費)	495,810	631,950	△136,140
(減価償却額)	( 81,450)	( 79,990)	( 1,460)
(借入金処分等利息)	11,200	12,400	△1,200
(資産処分等)	41,060	1,790	39,270
(予備費)	17,900	17,900	0
消費支出の部合計	5,885,570	6,186,530	△300,960
当年度消費収入超過額	11,330		
当年度消費支出超過額		108,480	
前年度繰越消費支出超過額	826,680	718,200	
翌年度繰越消費支出超過額	815,350	826,680	

## 「近赤外分析法」という言葉を聞いたことがありますか？ 新しい機能性食品の開発を目指して

短期大学部 食物栄養科 助教授 寺澤洋子

「近赤外光」という言葉をご存じでしょうか？ 私たちの生活において、「赤外光」や「遠赤外光」は、ご飯の保温やコーヒーの焙煎で用いられることがあるため、よく耳にしている言葉かもしれませんが、「近赤外光」となると初めて聞く言葉の方が多いかもしれません。ところがアメリカの農務省では、1960年代からこの「近赤外光」を用いて果物や穀物の品質を分析する研究が行われていたのです。

近赤外光とは、一般に800nm(ナノメートル)から2500nmの波長を有する光を指します。これは殺菌などに利用されている紫外光(200-400 nm)や、私たちが色として見ている可視光(400-800nm)の仲間ですが、光の透過する能力が高いことが特徴です。このため果物などの成分を分析する場合、近赤外光ならば収穫されたあるがままの状態でも透過分析をすることが容易になるため、果実の糖度や酸度を瞬時に判別する選果機などに応用がなされています。近年では農産物のみならず、工業製品や繊維の成分分析、医薬品などの品質管理に応用する研究も始まっています。そして私はこの近赤外分析法を、食品の機能を解明する手段に活用しながら研究を行っています。

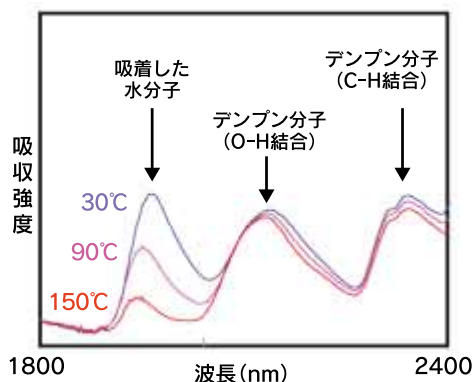
その一例として、温度変化を行いながら「モチ」の近赤外分析を行ったときのデータを図に示します。この中にはモチのデンプン分子と、モチに吸着している水分子のピークが観察されます。通常、水は100℃で蒸発するため、この温度付近で水のピークが観察されることはありません。ところが大変興味深いことに、モチの中に吸着されている水のピークは、90℃に加熱しても大きな強度を示し、150℃でもピークが消えることはありません。この結果、モチのデンプン分子と水分子の間には、極めて強い結合(水和)があることが解りました。モチ米のように複雑に枝分かれした分子構造を持つデンプン分子は、水分子を強く保持する機能が強く、食品の老化を抑える役割を果た

しているということが近赤外分析法からも考えられました。

私は筑波大学大学院に在籍中の時から近赤外分光法を始め、小麦デンプンの「糊化」や「老化」を定量する手法を考案すると共に、糊化・老化の分子メカニズムを解析することを行いました。デンプン食品の味覚や食感、糊化や老化現象と密接に関わっているため、加工食品の品質管理などには、近赤外分析法が有用と考えられます。また、様々な食材の水分子結合能力を明らかにすることは、新しい機能をもった食品(例えば高齢者用の燕下食など)の開発に結びついていくと考えています。本研究は現在、農林水産省が管轄している農業生物資源研究所と協力しながら進めています。

今後も食品の持つ機能性に着目し、近赤外分析法を用いながら食品の新しい分子メカニズムを明らかにする研究に携わって行きたいと考えています。

＜モチの近赤外吸収スペクトルのデータ＞



### プロフィール

中村学園大学家政学部食物栄養学科卒業。筑波大学大学院生命環境科学研究科博士課程修了。博士(学術)。大学卒業後、中村学園大学助手として勤務。その後、本学園の併設校である中村学園女子高等学校・中学校の家庭科教諭(食物)の経歴を持つ。平成16年度から中村学園大学短期大学部に勤務。  
担当教科/栄養指導論、栄養学実習 他。  
趣味:日本舞踊、乗馬(ちょっとだけ)

## 学生の人気業種と添乗員

短期大学部 家政経済科 教授 清水 誠

本学就任前は、旅行会社に長年勤務し、そこでさまざまな業務を担当しておりました。最後の10年余りからは学会に所属して研究活動も始め、人事総務の仕事が長かった関係があつて、ホスピタリティビジネスにおける人的資源管理にその軸を置いています。

毎年ある時期になると、就職支援企業などが行う学生向けのアンケート調査による人気企業ランキングが新聞発表されます。そのトップ数社の中に、超一流の商社・金融・メーカーなどに混じって、必ず大手の旅行会社が1社は入っていて、学生に根強い人気のあることを表しています。

2年前に大学院の修士課程で卒業研究に行った学生の就職意識調査では、それほど人気のある旅行会社に実際に就職したらどんな仕事をやりたいかと聞くと、ほとんどの学生から旅行の企画と添乗の仕事だとの答えが返ってきました。学生時代にあちこちに旅行をした学生は、普通のガイドブックなどには載っていない素晴らしい所を巡るツアー企画してお客様に案内してあげたい、などと考えているようです。ところが多くの旅行会社では分業が進んでいて、なかなか企画の仕事には廻してもらえません。男性社員は、お得意様のところに出向いて、大口の団体旅行(たとえば修学旅行)の取扱の獲得に血眼になって日夜走り回る。女性社員は、販売の店頭に立って本部から送られてくるパンフレットに載っている旅行に参加するお客様の申し込みを受付け、出発のための諸手続きに追われて、企画どころではありません。

一方で添乗の仕事は、今日では、新聞やパンフレットで募集する旅行、旅行業法という企画旅行(以前は主催旅行)の大部分が専任の添乗員によって賄われています。つまり旅行会社の社員というよりも、労働者派遣事業者から派遣される専門の添乗員が同行して旅程のお世話をしているのです。この仕事はなかなか大変で、特に海外旅行を主に担当する添乗員にとっては、行き先国に対応した

語学力を有し、諸国の歴史文化など現地事情に精通し、そして何よりも危機管理など高度な業務処理能力と相当な体力を備えていなければなりません。近頃は外国でも異常気象や交通事故などが原因で旅行の安全が脅かされることも少なくありません。とにかくお客様を安全・快適・楽しく旅行させ、予定通りに帰国させることが至上命題です。

しかし、全国に1万人以上いるその専任添乗員は、ほとんどが旅行のつど契約を交わす登録型の派遣社員なので、雇用は不安定で社会保険等の保障はなく、賃金も驚くほど安いのが実情です。そんな人たちを支えているのは、日々の人びととの出会いであり、お客様からの感謝の言葉です。

お客様は、旅行中の添乗員の働きに感謝し、大変な効用を感じながら、旅行費用に占める添乗員の部分について関心を持ちません。市場に出ている旅行が信じられないほど安く販売されている中で、添乗は無料の付加サービスであるかのごとく、貴重な人的資源の価値が十分に評価されていないのが実情なのです。

物よりも心の豊かさが求められる時代です。人に喜びを与える人的サービスが公正に評価されなければなりません。今の私は、こうした楽しい旅行の演出に重要な役を演じる添乗員の人的な価値をしっかりと認めるべきであるといろんな場面で取り組んでいます。



### ■プロフィール

66年立教大学経済学部卒、04年同大学院ビジネスデザイン研究科修士課程(MBA)修了、日本旅行常務取締役西日本営業本部長、同グループのジャッツ社長などを経て、04年中村学園大学短期大学部教授、日本国際観光学会専務理事、日本添乗サービス協会顧問、専門は観光論、ホスピタリティ論、サービスマネジメント論



# 平成18年度入学試験のお知らせ

## 中村学園大学

### ■ 栄養科学部 ■

#### 1. 募集学科・入学定員・募集人員

学 科	入学定員	推薦入学選考募集人員		試験入学選考募集人員	大学入試センター試験利用入学試験募集人員
		公 募 制	併 設 高 校		
栄養科学科	200名	65名	25名以内	100名	10名(前期)

#### 2. 出願資格

推 薦 入 学 選 考	試 験 入 学 選 考
① 向学心が強く、本学の教育方針に賛同する者。 ② 調査書記載の「全体の評定平均値」が3.6以上の者。 ③ 平成18年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。 ◎出願にあたって…合格の場合、必ず入学することを条件とする。	① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成18年3月卒業見込みの者。 ② その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

#### 3. 日程及び選考

推 薦 入 学 選 考			試 験 入 学 選 考		
出 願 期 間	平成17年11月1日(火)～10日(木)	選 考 日 平成17年11月18日(金)	出 願 期 間	平成18年1月10日(火)～24日(火)	選 考 日 平成18年2月2日(木)
選 考 科 目	I.小 論 文	10:00～11:30 (90分)	選 考 科 目※	I.英 語	11:00～12:00 (60分)
	Ⅱ.面 接	12:30～		Ⅱ.選択科目	13:00～15:00 (120分)
選 考 場	本学(福岡)		選 考 場	本学(福岡)・山口(小郡)・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	
選 考 方 法	調査書・小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するかどうかを重視する。		選 考 方 法	3科目の合計得点(各科目100点、300点満点)による。	
合格者発表	平成17年11月28日(月)		合格者発表	平成18年2月14日(火)	
■高校時代の活動の中でも、次の事項については推薦入学選考の際に特に考慮する。 ○生徒会会長経験者    ○文化活動の全国大会での優秀な成績保持者    ○全国高校総体出場者 ○ボランティア活動    ○実用英語技能検定(英検)2級以上    ○TOEFL 450点以上			※①英語(英語Ⅰ・Ⅱ) ②選択科目ー下記の中から2科目を選択 ◎国語(国語総合(漢文を除く))    ◎数学[数学Ⅰ・Ⅱ、数学A] ◎化学[化学Ⅰ・Ⅱ][化学Ⅰ]の全範囲および「化学Ⅱ」の第1部(物質の構造と化学平衡)のみから出題 (選択分野である第2部、第3部は除外) ◎生物[生物Ⅰ・Ⅱ][生物Ⅰ]の全範囲および「生物Ⅱ」の第1部(生物現象と物質)のみから出題 (選択分野である第2部、第3部は除外)		

### ■ 人間発達学部 ■

#### 1. 募集学科・入学定員・募集人員

学 科	学 科	入学定員	推薦入学選考募集人員		試験入学選考募集人員	大学入試センター試験利用入学試験募集人員
			公 募 制	併 設 高 校		
人間発達学科	幼児発達学専攻	100名	36名	9名以内	50名	5名(前期)
	児童発達学専攻	50名	15名	5名以内	27名	3名(前期)

#### 2. 出願資格

推 薦 入 学 選 考	試 験 入 学 選 考
① 向学心が強く、本学の教育方針に賛同する者。 ② 調査書記載の「全体の評定平均値」が3.4以上の者。 ③ 平成18年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。 ◎出願にあたって…合格の場合、必ず入学することを条件とする。	① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成18年3月卒業見込みの者。 ② その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

#### 3. 日程及び選考

推 薦 入 学 選 考			試 験 入 学 選 考		
出 願 期 間	平成17年11月1日(火)～10日(木)	選 考 日 平成17年11月18日(金)	出 願 期 間	平成18年1月10日(火)～24日(火)	選 考 日 平成18年2月2日(木)
選 考 科 目	I.小 論 文	10:00～11:30 (90分)	※ 選 考 科 目	I.英 語	11:00～12:00 (60分)
	II.面 接	12:30～		II.国 語	13:00～14:00 (60分)
				III.選 択 科 目	14:40～15:40 (60分)
選 考 場	本学(福岡)		選 考 場	本学(福岡)・山口(小郡)・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	
選 考 方 法	調査書・小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するか否かを重視する。		選 考 方 法	3科目の合計得点(各科目100点、300点満点)による。	
合 格 者 発 表	平成17年11月28日(月)		合 格 者 発 表	平成18年2月14日(火)	
			※①英語(英語Ⅰ・Ⅱ) ②国語(国語総合(漢文を除く)) ③選択科目ー下記の中から1科目を選択 ◎世界史(世界B) ◎日本史(日本史B) ◎地理(地理B) ◎数学(数学Ⅰ・Ⅱ、数学A) ◎化学(化学Ⅰ・Ⅱ)〔化学Ⅰ〕の全範囲および〔化学Ⅱ〕の第1部(物質の構造と化学平衡)のみから出題 (選択分野である第2部、第3部は除外) ◎生物(生物Ⅰ・Ⅱ)〔生物Ⅰ〕の全範囲および〔生物Ⅱ〕の第1部(生物現象と物質)のみから出題 (選択分野である第2部、第3部は除外)		

### ■ 流通科学部 ■

#### 1. 募集学科・入学定員・募集人員

学 科	入学定員	推薦入学選考募集人員			試験入学選考募集人員	大学入試センター試験利用募集人員入学試験		外国人留学生募集人員
		公 募 制	併 設 高 校	指 定 校		前期	後期	
流通科学科	190名	15名	30名以内	50名	75名	7名	3名	10名

#### 2. 出願資格

推 薦 入 学 選 考	試 験 入 学 選 考
① 向学心が強く、本学の教育方針に賛同する者。 ② 調査書記載の「全体の評定平均値」が3.4以上の者。 ③ 平成18年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。 ◎出願にあたって…合格の場合、必ず入学することを条件とする。	① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成18年3月卒業見込みの者。 ② その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

#### 3. 日程及び選考

推 薦 入 学 選 考			試 験 入 学 選 考		
出 願 期 間	平成17年11月1日(火)～10日(木)	選 考 日 平成17年11月18日(金)	出 願 期 間	平成18年1月10日(火)～24日(火)	選 考 日 平成18年2月1日(水)
選 考 科 目	I.小 論 文	10:00～11:30 (90分)	選 考 科 目	Ⅰ.英 語	10:00～11:00 (60分)
	Ⅱ.面 接	12:30～		Ⅱ.国 語	11:45～12:45 (60分)
				Ⅲ.選 択 科 目	13:45～14:45 (60分)
選 考 場	本学(福岡)		選 考 場	本学(福岡)・山口(小郡)・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	
選 考 方 法	調査書・小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するかどうかを重視する。		選 考 方 法	3科目の合計得点(各科目100点、300点満点)による。	
合格者発表	平成17年11月28日(月)		合格者発表	平成18年2月14日(火)	
<div>■高校時代の活動の中でも、次の事項については推薦入学選考の際に特に考慮する。 ○全商簿記1級以上   ○日商簿記2級以上   ○情報処理技能検定2種以上 ○実用英語技能検定(英検)2級以上   ○TOEIC 450点以上   ○生徒会会長経験者 ○文化活動の全国大会での優秀な成績保持者   ○全国高校総体出場者   ○ボランティア活動   ○その他</div> <div>■流通科学科指定校制推薦入学選考の実施については、別に定める。</div>			<div>※①英語(英語Ⅰ・Ⅱ)   ②国語(国語総合(漢文を除く)) ③選択科目ー下記の中から1科目を選択 ○世界史(世界B)   ○日本史(日本史B)   ○地理(地理B) ○政治・経済   ○数学(数学Ⅰ・Ⅱ、数学A)</div>		

■ 大学入試センター試験利用入学試験 ■

1. 募集人員

学 部	学 科	専 攻	募 集 人 員	
			前期日程	後期日程
栄養科学部	栄養科学科	—	10名	—
人間発達学部	人間発達学科	幼児発達学専攻	5名	—
人間発達学部	人間発達学科	児童発達学専攻	3名	—
流通科学部	流通科学科	—	7名	3名

2. 出願資格

- 次の(1)または(2)の要件を満たし、「平成18年度大学入試センター試験」において、本学が指定する教科・科目を受験した者。
- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成18年3月卒業見込みの者。
- (2) その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。
- ※平成17年度大学入試センター試験の成績の利用はできない。

3. 出願期間

前期日程 平成18年1月10日(火)～24日(火) 後期日程 平成18年2月21日(火)～3月4日(土)

4. 選考方法

- (1) 平成18年度大学入試センター試験の成績を基に判定する。なお、前年度の成績は利用できない。
- (2) 本学の個別学力試験は課さない。

<試験科目>

種別	学 部	教 科	科 目		配点	合 計
前期日程	栄養科学部	外国語	「英語」		100点	300点 国語、外国語は 100点に換算する。 英語については リスニングテストを含む
		国語	「国語」		100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択			
		理 科	「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」			
	人間発達学部	外国語	「英語」		100点	300点 国語、外国語は 100点に換算する。 英語については リスニングテストを含む
		国語	「国語」		100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択		100点	
		理 科	「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「地学Ⅰ」「生物Ⅰ」			
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」			
前期日程 後期日程	流通科学部	外国語	「英語」		100点	300点 国語、外国語は 100点に換算する。 英語については リスニングテストを含む
		国語	「国語」		100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択		100点	
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」			

5. 合格発表

前期日程 平成18年2月14日(火) 後期日程 平成18年3月13日(月)

本学に掲示する。また、電話・携帯電話・パソコンを利用した合否案内システム、および本学公式ホームページでも行う。  
(合格者には、後日、合格通知を速達便にて送付する。)

中村学園大学短期大学部

1. 募集学科・入学定員・募集人員

学 科	入学定員	推薦入学選考募集人員				試験入学選考 募集人員	社会人入学試験 募集人員
		公 募 制	併 設 高 校	指 定 校	自己推薦制		
食物栄養科	150名	87名	15名以内	—	—	43名	5名以内
家政経済科	150名	10名	10名以内	110名	10名	10名	若干名
幼児保育科	190名	110名	20名以内	—	—	60名	5名以内

2. 出願資格

推 薦 入 学 選 考	試 験 入 学 選 考
① 向学心が強く、本学の教育方針に賛同する者。 ② 調査書記載の「全体の評定平均値」が食物栄養科・幼児保育科は3.2以上、家政経済科は3.0以上の者。 ③ 平成18年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。 ◎出願にあたって…合格の場合、必ず入学することを条件とする。	① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成18年3月卒業見込みの者。 ② その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

3. 日程及び選考

推 薦 入 学 選 考			試 験 入 学 選 考		
出 願 期 間	平成17年11月1日(火)～10日(木)	選 考 日 平成17年11月19日(土)	出 願 期 間	平成18年1月10日(火)～24日(火)	選 考 日 平成18年2月3日(金)
選 考 科 目	I. 小 論 文	10:00～11:30 (90分)	選 考 科 目	I. 英 語	10:00～11:00 (60分) (全学科必須)
	II. 面 接	12:30～		II. 国 語	11:45～12:45 (60分) (家政経済科・幼児保育科必須)
選 考 場	本学(福岡)		選 考 場	本学(福岡)・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	
選 考 方 法	調査書・小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するかどうかを重視する。		選 考 方 法	2科目の合計得点(各科目100点、200点満点)による。	
合格者発表	平成17年11月28日(月)		合格者発表	平成18年2月14日(火)	
■ 幼児保育科の出願希望者は、選考において音楽実技テストを課さないが、幼稚園教諭や保育士を志す者として、入学時にバイエル教則本40番までを演奏することができ、かつコールユーブンゲン3度音程を歌えることが望ましい。			◎英語(英語Ⅰ・Ⅱ) ◎国語(国語総合(古文、漢文を除く)) ◎選択科目(食物栄養科のみ)→下記の中から1科目を選択 ◎国語(国語総合(古文、漢文を除く)) ◎化学(化学Ⅰ・Ⅱ) ◎生物(生物Ⅰ・Ⅱ) ※化学は「化学Ⅰ」の全範囲および「化学Ⅱ」の第1部(物質の構造と化学平衡)のみから出題 (選択分野である第2部、第3部は除外) ※生物は「生物Ⅰ」の全範囲および「生物Ⅱ」の第1部(生物現象と物質)のみから出題 (選択分野である第2部、第3部は除外) ■共通科目(英語及び国語の2科目)で受験した場合は、すべての学科において第2志望を認める。		
■ 家政経済科指定校制、自己推薦制推薦入学選考の実施については、別に定める。			■ 幼児保育科の出願希望者は、入学試験において音楽実技テストを課さないが、幼稚園教諭や保育士を志す者として、入学時にバイエル教則本40番までを演奏することができ、かつコールユーブンゲン3度音程を歌えることが望ましい。		

外国人留学生、帰国子女、社会人の入学試験の実施については別に定めます。詳細は入試課(TEL092-851-6762 直通)までお問合せください。

# 平成17年度オープンキャンパスのお知らせ

実際に目を見て、触れて中村を体験してみよう！

本年度も次のとおりオープンキャンパスを開催いたします。事前予約不要で、入退場も自由です。受験生はもちろん保護者の方、高校1、2年生の方も大歓迎です！

詳細につきましては、本学・入試課  
(TEL092-851-6762)までお問い合わせください。

## 開催日時

第1回目/ 7月30日(土) 10時～15時30分

第2回目/ 8月20日(土) 10時～15時30分

## 場 所

中村学園大学・中村学園大学短期大学部  
(福岡市城南区別府5-7-1)



## 主なプログラム

※一部内容が変更になる場合があります。

- 入試相談コーナー
- 学生生活・奨学金・就職相談
- 模擬授業
- 保育実技講座
- 小論文講座
- 入試問題傾向と対策 (国語・英語編)
- 保護者対象入試説明会
- キャンパス・スタンプラリー
- 福岡県小児糖尿病サマーキャンプでの学生活動紹介コーナー
- オリジナルTシャツを作ろう
- 学校紹介VTR上映 など



## 本校までのアクセス

- ① 天神・博多駅から西鉄バスで20～30分、「中村大学前」下車
- ② 天神から福岡市地下鉄七隈線「天神南駅」乗車(9分)～「別府駅」下車1番出口から徒歩1分

# 平成17年度情報処理センター開館時間延長の実施について

レポート提出及び卒論研究等による特定時期における情報処理センターの混雑の緩和及び利用者への学習支援の向上を目的として、下記のとおり、情報処理センターの開館延長を実施いたします。

## 1 開館延長を実施する期間

平成17年度は混雑が予想される期間(下表の●)のみ開館延長を実施いたします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平 常 期	○	○			○	○					○	○
混 雑 期			●	●			●	●	●	●		

## 2 開 館 時 間

	平 常 期	混 雑 期	備 考
平 日	9時00分～18時00分	9時00分～20時00分	混雑期は、18時～20時の間、開館延長
第1・3・5土曜日	9時00分～14時00分	9時00分～16時00分	混雑期は、14時～16時の間、開館延長
そ の 他	第2、第4土曜日、日曜日、祝日及び本学の休業日は閉館となります。		

## 3 運 営 体 制

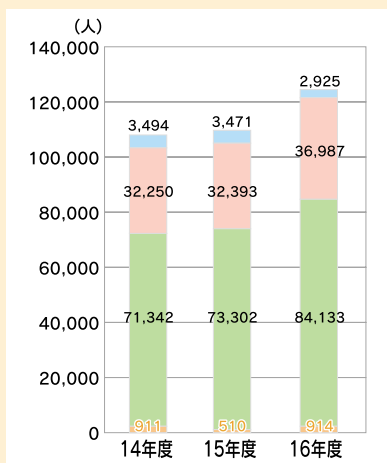
平日18時以降(土曜日14時以降)は、学生スタッフ2名による、演習パソコン室及びオープンパソコン室における周辺機器、参考図書の貸出、プリンターの用紙補給、簡単な操作指導のみの対応となります。



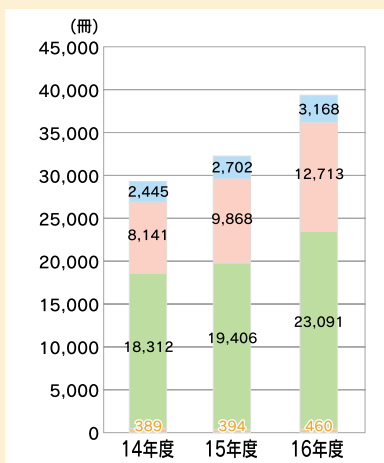
# 平成16年度図書館利用状況

平成16年度は過年度で最多の利用状況となりました。

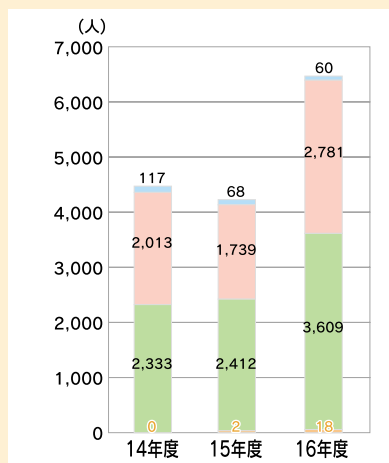
## 1 入館者数



## 2 館外貸出冊数



## 3 AVコーナー利用者数



■ 大学院生 ■ 大学生 ■ 短大生 ■ その他

## 4 学生への貸出人数・冊数(学部別)

	大学院生		栄養科学部等*1		人間発達学部等*2		流通科学部		短期大学部	
	貸出者数 (人)	貸出冊数 (冊)	貸出者数 (人)	貸出冊数 (冊)	貸出者数 (人)	貸出冊数 (冊)	貸出者数 (人)	貸出冊数 (冊)	貸出者数 (人)	貸出冊数 (冊)
14年度	189	389	6,283	9,367	4,333	6,536	1,656	2,409	5,574	8,141
15年度	156	349	5,545	8,902	4,660	7,784	1,708	2,720	6,248	9,868
16年度	283	460	7,450	10,374	6,342	9,603	2,164	3,114	9,112	12,713

(注)\*1…食物栄養学専攻、管理栄養士専攻を含む \*2…児童学専攻、児童教育学専攻を含む

涼しくて静かなスペースを  
利用してみませんか？

高校生のみなさんへ  
**図書館開放のお知らせ**

**開放期間**

**8月1日(月)～8月31日(水)**

〈休館日〉 日曜日、第4土曜日  
8月11日(木)～16日(火)

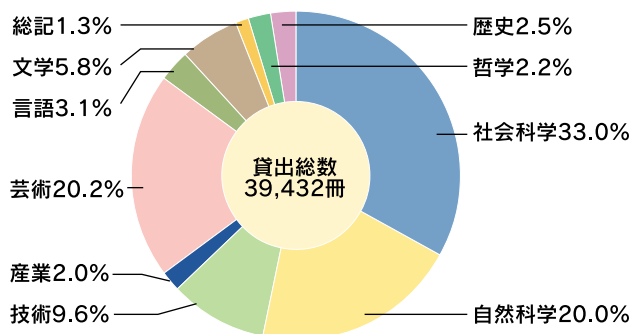
**開館時間**

月～金 9:30～17:00  
土 9:30～13:00

※ 駐輪場、喫茶室(食堂)あり  
※ Tel 092-851-2573

[www.lib.nakamura-u.ac.jp](http://www.lib.nakamura-u.ac.jp)

## 5 貸出冊数分類別構成比率(平成16年度)



## 6 開館日数

年度	日数
14年度	237日
15年度	244日
16年度	238日

## 7 文献複写依頼

年度	依頼	受付
14年度	518	46
15年度	592	55
16年度	700	109

## 8 蔵書冊数(DVDなどの視聴覚資料含まず)

年度	和書	洋書	合計
14年度	149,367	38,676	188,043
15年度	154,614	39,460	194,074
16年度	158,876	40,037	198,913

## 名誉教授の称号記授与

平成17年3月末に退職された、宮田奈美子元人間発達学部教授並びに三好隆三元人間発達学部教授に対して、中村学園大学名誉教授の称号が授与されることとなり、6月2日に名誉教授の称号記授与式が行われた。



宮田奈美子  
名誉教授



三好隆三  
名誉教授

これは、本学教授としての、長年にわたる教育・学術上の功績に対して授与されるものである。

## GPA優秀者表彰

GPA(グレイド・ポイント・アベレイジ)優秀者が決定し、5月13日の創立記念式典にて、大学栄養科学部12名、人間発達学部15名、流通科学部12名、短期大学部12名に、表彰状と記念品が授与された。

※GPAとは？…学生の学業成績にG P(グレイド・ポイント)制を導入している。学生の成績は、優・良・可・不可として評価されるが、この評価を優(特優4点・優3点)・良2点・可1点・不可及失格0点に点数化してG Pとし、履修登録科目のG Pにそれぞれの科目の単位数を乗じた値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除してG P A(グレイド・ポイント・アベレイジ)を算出する。この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果をあげたかが評価できる。

## 管理栄養士国家試験合格状況

平成17年3月27日に、第19回管理栄養士国家試験が実施され、管理栄養士専攻(本年3月卒業)の228名が受験した。合格者発表は、5月11日午後2時に全国一斉になされたが、5月17日にさらに追加合格が発表され、最終的に203名の合格となった(合格率89.0%)。全国的には、受験者数30,475名(昨年比2,604名増)、合格者数7,705名(昨年比3,355名増)で、合格率は25.3%(昨年比9.7%増)であった。今年の合格者数が、昨年の1.74倍であったことには驚いたが、まだまだ4人に1人の狭き門といえる。栄養科学部では4年生の指導主任を中心に、国家試験対策のための委員会をつくり、4月早々から、管理栄養士演習を充実させるとともに、学内模試2回(6月、9月)および業者模試2回(11月、2月)を開催し、学力の向上をはかった。一方、本年度から国家試験が改正(①出題数が80問から200問に増加する、②免除科目が撤廃される)されることから、受験生に危機感がつのり、結果的にこれらが200名を越える合格者をもたらしたと思われる。

(大学 栄養科学部 教授 古賀信幸)

## 平成17年度後援会地区連絡会のお知らせ

後援会地区連絡会は例年2月中旬～3月に開催いたしておりましたが、平成17年度は9月に、本学を含め九州内の8地区で開催いたします。

連絡会では、在学生のご父母を対象として、本学の教育研究の近況報告とともに、在学生の履修・学生生活・就職に関する報告と説明のほか、教員による個別面談等が行われます。

各地区の開催日及び会場は、右のとおりです。

※ 詳細につきましては、本学・庶務課までお問い合わせください。

TEL 092-851-2559(直通)

### 当日のスケジュール(予定)

12:00～	受付 ビデオ(DVD)上映
12:30～13:50	就職に関する連絡会
14:00～14:40	全体会 (学園状況・学修・ 学生生活説明)
14:40～16:30	個別面談

地 区	開催日	会 場
福 岡	9月17日(土)	本 学
北九州	9月18日(日)	ステーションホテル小倉
長 崎 (佐世保)	9月18日(日)	セントラルホテル佐世保
熊 本	9月18日(日)	熊本交通センターホテル
大 分	9月23日(祝)	大分第一ホテル
宮 崎	9月23日(祝)	ホテルJALシティ宮崎
佐 賀	9月24日(土)	ホテルニューオータニ佐賀
鹿児島	9月24日(土)	ブルーウェーブイン鹿児島

## 平成17年度科学研究費補助金の交付決定

文部科学省から交付される平成17年度の科学研究費補助対象研究が、次のとおり決定した。(平成16年度からの継続分は除く)

研究種目	研究代表者	研究課題名	平成17年度交付額
基盤研究(C)	佐藤 鉄太郎 教授 (大学 人間発達学部)	鎌倉幕府・鎮西探題が大土木工事によって構築した城郭都市博多の都市の復原の研究	70万円
若手研究(B)	中野 裕史 講師 (大学 人間発達学部)	運動神経細胞における運動時の神経栄養因子シグナル伝達に及ぼす支配筋特異性の影響	260万円
	田中 美鈴 助手 (大学 栄養科学部)	皮下脂肪の蓄積は脂質代謝異常、糖代謝異常発症の抑制要因になりうるか	120万円

## 研究助成・受託研究等採択状況

株式会社久留米リサーチパーク  
平成17年度可能性試験  
(文部科学省補助金事業)  
**新規ファージディスプレイ法による  
ペプチドライブラリーの開発と  
それに基づく創薬技術の開発**

〈研究者〉  
内山 文昭 教授(大学院栄養科学研究科 教授)  
交付金額/2,000,000円



内山 文昭 教授  
(大学院 栄養科学研究科)

## 表彰のお知らせ

### 第11回美庵大賞展「芸術文化奨励賞」受賞

第11回美庵大賞展において、「天上交響・八葉曼荼羅」が「芸術文化奨励賞」を受賞した。  
(Bian Vol.32に掲載—芸術出版社)今回の受賞作品による展覧会は、すどう美術館(東京銀座)において4月26日(火)から5月1日(日)まで開催された。



井上 寛七 教授  
(大学 人間発達学部)



「天上交響・八葉曼荼羅」  
水彩画 60×60cm

## 教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、( )内は出版社、発行年月



**食品鑑定技術  
ハンドブック**  
太田 英明 編著  
大学 栄養科学部 教授  
(サイエンスフォーラム)  
(平成17年1月)



**応用栄養学 第2版**  
津田 博子 編著  
大学 栄養科学部 教授  
広井 祐三 共著  
大学 栄養科学部 教授  
(建帛社)  
(平成17年4月)



**応用栄養学**  
今井 克己 共著  
大学 栄養科学部 助教授  
(化学同人)  
(平成17年5月)



**〈学級〉の歴史学  
自明視された空間を疑う**  
柳 治男 単著  
大学 人間発達学部 教授  
(講談社)  
(平成17年3月)



**子どもの  
発達援助の実践と福祉**  
佐々木 美智子 共著  
大学 人間発達学部 助教授  
(中央法規)  
(平成17年4月)



**比較ジェンダー論  
ジェンダー学への  
多角的アプローチ**  
佐々木 美智子 共著  
大学 人間発達学部 助教授  
(中央法規)  
(平成17年4月)



**図解 リレーショナル簿記  
〔中級編〕**  
福浦 幾巳 編著  
大学 流通科学部 教授  
宮地 晃輔 共著  
短期大学部 家政経済科 助教授  
(創成社)  
(平成17年5月)



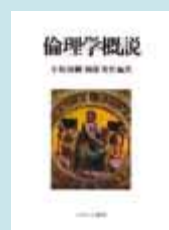
**九州観光マスター検定  
公式テキストブック**  
片山 富弘 編著  
大学 流通科学部 助教授  
清水 誠 共著  
短期大学部 家政経済科 教授  
(福岡商工会議所)  
(平成17年4月)



**マネジリアル  
マーケティングの  
考え方と実際 増補版**  
片山 富弘 単著  
大学 流通科学部 助教授  
(五弦舎)  
(平成17年4月)



**ロジスティクス・イノベーション**  
吉岡 洋一 共著  
大学 流通科学部 助教授  
(白桃書房)  
(平成17年7月)



**倫理学概説**  
小阪 康治 共著  
短期大学部 家政経済科 教授  
(ミネルヴァ書房)  
(平成17年3月)



**The Modern Language  
Journal Vol 89**  
"The Effects of Awareness-Raising  
Training on Oral Communication  
Strategy Use"  
中谷 安男 共著  
短期大学部 家政経済科 助教授  
(Blackwell Publishing)  
(平成17年4月)



編集

中村学園大学 中村学園大学短期大学部 学長事務室

発行日

平成17年7月30日

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 TEL.092-851-2531  
[ホームページアドレス]<http://www.nakamura-u.ac.jp/>

ハワイ大学リーワード短期研修学生(調理実習)

## — 広報誌セロリの定期購読について —

個人で定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を書いた紙片を同封の上、学長事務室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。

申込み先

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1  
中村学園大学 学長事務室 「広報誌定期購読申込」係